

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary
寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～
『応援しよう 寒川の子どもたち』

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 山本和好 幹事 島村盛晶

会報委員(クラブ管理運営委員会)

眞原 浩 中村 靖 秋本茂雄 石塚雄司 遠藤弘美
茂内 勝 清水 功 下里宏規 鈴木正秋 三留通男

第2341回例会 2025年12月8日(月) 晴れ

司会 下里副幹事

斉唱 奉仕の理想 ソングリーダー: 石塚クラブ管理運営委員

メイクアップ 【本日分】 金子会員、中村光良会員、眞原会員(理事会)

ゲスト 畠山紀子様、大森竜朗様

会長の時間 山本会長

こんばんは。先日会長幹事会がありましたので、まずはその報告から。①QRコードが付いた名刺サイズのロータリー紹介ツールについて。こちらのQRコードを読み込んでいただくと第1グループから第10グループまでの紹介と第4グループだけの紹介の映像が見られるようになっています。寒川RCの紹介ももちろん入っていますので、会員増強に役立てていただきたいと思います。②ウクライナとの共同事業について。地区奉仕プロジェクト委員会が窓口となり日本全国の地区合同で国際共同委員会(ICC)を進めているそうです。③米山学友会主催国際交流会が14日(日)に開催されます。ロック君もベトナム料理を披露するそうです。お時間のある方はぜひ参加してください。④次年度の青少年交換学生受入れについて。11月8日、9日にアウトバウンドの選考試験があり、7名の合格者が出たそうです。ということは、インバウンドも7名となり第4グループも学生の受入れを担当する可能性があります。⑤IMについて。本日大箭G始め主管クラブの茅ヶ崎RCからキャラバンにお越しいただいていますが、2月1日(日)、レンブラントホテ

ル海老名で行われます。テーマは「青少年を巻き込むネット犯罪の現状と対策について」です。会長幹事会の報告は以上です。来週のクリスマス家族親睦例会には大勢の皆さんが出席されるとのこと、非常に楽しみです。最近寒暖差が激しいので、体調管理に気を付けて楽しいクリスマス例会にさせていただきたいと思います。

IMキャラバン

大箭剛久ガバナー補佐、杉田祐一IM実行委員長、島崎英之会員(茅ヶ崎RC)



出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
37名	35名	27名	77.14%	第2338回 68.57%
本日欠席者	加藤会員、茂内会員、藤会員、山本哲会員、二見会員、遠藤会員、清水会員、椎野会員			第2339回 91.43%

誕生日祝 12月生まれ

三澤会員



幹事報告 島村幹事

例会変更

茅ヶ崎、茅ヶ崎湘南、綾瀬春日、各RC

週報受理

寒河江RC

その他受理

●ガバナー事務所

～12月のロータリーレート {1ドル=156円} (11月:154円)

～2028-29年度ガバナーノミニー確定宣言 {三荒弘道氏 (平塚RC)}

●茅ヶ崎ロータリークラブ

～創立65周年記念式典出席に対するお礼状

●寒川町商工会

～賀詞交歓会開催案内 {26.1/9(金)18:00～ 於:寒川神社参集殿 会費:6,000円}

●寒川町

～令和8年寒川町賀詞交歓会開催案内 {26.1/12(月・祝) 10:00～11:30 於:町民センター1階展示室}

●湘南しんきん

～令和8年新春初顔合わせ会開催案内 {26.1/15(木) 10:30～ 於:湘南信用金庫本部別館} (欠席)

回覧

○茅ヶ崎RC創立65周年記念式典出席写真

出席報告 中村靖クラブ管理運営委員

委員会報告・地区および地域出向者報告

なし

同好会報告

ゴルフ同好会 石丸会員

次回279回寒川RCゴルフコンペは三留会員エイジシューートの祝いコンペも兼ねて行います。よろしくお願いいたします。

第2341回スマイルボックス

三留クラブ管理運営委員

合計41,000円

◎大箭剛久ガバナー補佐(茅ヶ崎RC)

こんばんは。本日はIMキャラバンでお邪魔しました。来年のことを言うと鬼が笑うと言いますが、茅ヶ崎クラブのメンバー一同、鬼を笑い死にさせるくらいの勢いで張り切っています。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

◎杉田祐一IM実行委員長、島崎英之様(茅ヶ崎RC)

本日はIMキャラバンでお伺いしました。2月1日、レンブラントホテル海老名にて皆様のお越しを心よりお待ちしております!!

◎山本会長・島村幹事

本日は畠山様、大森様、ようこそお越しくださいました。卓話、よろしくお願いいたします。

◎三澤会員

お誕生日プレゼントありがとうございます。元気で70代を楽しもうと思っていますので、これからもよろしくお願いいたします。

◎井上晋一会員

本日は長期ビジョン実行委員会担当例会です。畠山紀子様、大森竜朗様には快く卓話をお引き受けいただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

◎椎谷会員

1.大箭剛久ガバナー補佐、IMキャラバン隊、ようこそ。
2.三留会員、12が智3日エイジシューートおめでとうございます。祝賀会に出られなくて申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

◎磯川会員

産業まつりのお礼をいただきましたのでスマイルします。

◎青木、秋本、石腰、石塚、石丸、井上(稔)、内野、小澤、菊地、下里、鈴木(郁)、高波、中野、中村(靖)、三留、村松、森嶋、吉田、各会員

長期ビジョン実行委員会担当例会

井上晋一委員長

皆さんこんばんは。本日、畠山紗英さんのお母様で畠山紀子さん、そしてサッカーだけでなくいろいろなスポーツに関わってお仕事されているフットワーククラブ寒川の大森さんにお越しいただきました。8月に中央公園内のパンプトラックで畠山紗英さんが中心となって子どもたちにBMXの親子体験教室を開催され、私も見学に伺いました。子どもたちがとても楽しそうにしていたのが印象的でしたので、是非ロータリーで卓話をとお願いしたところ快くお引き受けいただき本日こういう形になりました。紀子さんはこういった講演が初めてとのこと、大森さんにお手伝いをお願いし、対談形式での卓話となります。では、よろしくお願いいたします。

卓話：畠山紀子様、大森竜朗様

「わたしの娘はオリンピック」

大森：こんばんは。フットワーク寒川の大森でございます。今日は畠山さんのサポートにお伺いしました。実は我々フットワーククラブはサッカーがメインのクラブではありますが、少しずつ寒川のスポーツ全体を盛り上げていきたいと考えております。そんな中で先ほど井上さんからもお話がありましたように、今年の夏、中央公園のパンプトラックを利用させていただいて、フットワーククラブ企画の畠山さんのBMX体験会を開催させていただきました。井上さんにも見学に来ていただいたわけですが、畠山さんのことをぜひ皆さんに知っていただきたいと本日の機会をいただきました。まずは畠山さんの紹介をさせていただきたいと思っております。畠山さんは寒川在住。BMXレーシングの日本を代表する選手：畠山紗英さんのお母様、畠山紀子さんです。

畠山：小谷に住んでいます畠山紗英の母、畠山紀子です。本日はお招きいただきありがとうございます。このように人前に出で話すのは初めてなのですごく緊張しています。皆さんに娘の競技を伝えられたらいいなと思ってまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

大森：皆さん、BMXレーシングという競技をご存知の方はいらっしゃるでしょうか。自転車競技の中でも非常に激しい競技でして、自転車界の格闘技と言われているものになります。そんな中で、今、日本のトップを走っているのが畠山紗英さんです。その経歴を簡単にお伝えします。紗英さんは1999年6月7日生まれ。出身は寒川町です。4歳からBMXレースを始め、その後、年齢別選手権で3度優勝達成。2014年より大手レッドブル社とBMXレーサーとして日本人初のアスリート契約（現在は契約終了）。現在ワールドカップシリーズに参戦し、世界の最前線で活躍中です。2021年日本人初東京オリンピック出場。2021年日本人初ワールドカップシリーズ第一戦3位入賞。2024年日本人女子唯一パリオリンピック出場。2025年はアジアBMXレーシング選手権優勝、JBMXF第10戦

茨城大会優勝。先日はニュースに出られましたよね？

畠山：はい。アジア選手権の前に全日本選手権があって、どちらも優勝することができました。つい先日寒川町長への訪問も行われました。

大森：せっかくなので少しBMXレーシングの動画を見ていただいて、どのような競技かと言うのを皆さんに知って頂ければと思います。

紗英さんはケガとかかされませんか？

畠山：ケガはもう小さいものも入れたら数え切れないぐらいしています。一番大きなケガは3回していて、頭を強く打って脳震盪を起こしたり、あとは肘、足首、鎖骨などを骨折しています。鎖骨の骨折はこの競技の選手ならだれでも一度は経験しているはず。転ぶと割と鎖骨は折れやすいので。

大森：紗英さんにお会いしたことがあるのですが、すごくおっとりしていてとてもこんなハードな競技をしているようには見えなかったのですが。

畠山：そうですね。話す時もとても遅くおっとりしています。いつまでも赤ちゃんみたいな感じですね。

大森：お母さんとして、自分の娘がオリンピック選手というのはどんな感じなんですか。

畠山：娘がオリンピック選手という感覚は特になくて、小さい時からずっとこの競技を続けてきて、もちろん彼女の頑張りがあったのですが、たまたまその競技でオリンピックに出たという感じでしょうか。彼女が走っている姿が大好きでたぶん私が一番のファンだと思います。小さい時はすごく甘えん坊で私から離れるのが嫌だったのか幼稚園とか小学校には泣いて行きたくないというぐらいでした。それが自転車に関してだけは負けず嫌いで、真っ暗になってもいつまでもコースを一人で走っているような感じでした。今26歳なんですけど、まだまだ子供っぽいところがありますし、海外に6年ぐらい住んでいたの料理やお菓子を作ったりするのも好きで、結構家庭的な一面もあります。

大森：紗英さんがBMXを始めたきっかけは何だったのでしょうか。

畠山：もともと主人が自転車が好きで、家族と一緒にできる趣味を探していたところBMXに出会って家族で始めました。紗英が2歳くらいの時でお兄ちゃん2人について物心ついた時から走りまわっていて、「私はいつレースに出られるの?」としょっちゅう聞いていましたね。

大森：お母さんから見て、紗英さんの強さの秘密というのはどこにあると思いますか？

畠山：普段の姿を見ているとオリンピック選手だなんて全然想像もつきませんが、レースのスイッチが入ると人が変わるというか、違う人になるんだと思います。

大森：畠山家はご主人と奥様と3人のお子さんがいるわけですが、子育てに関するポリシーがあったら教えてく

ださい。

畠山:とにかく家族がすごく仲が良いです。この競技も親がコースに連れて行って家族みんなで楽しむ。それが家族旅行みたいになっていると思います。

大森:今日ここにいらっしゃっている皆様もお子さんやお孫さんがいろいろな習い事をして、お子さん・お孫さんが自分のスキルやランクを上げていきたいという時に畠山さんから何かアドバイスがあったら教えてください。これは良かったんじゃないかな、もしくは、これはしくじったんじゃないかなといったものはありますか。

畠山:この競技に関しては私がすごく熱くなってしまうところがあって。私がすごく負けず嫌いなので、多分紗英より私の方が負けず嫌いだと思います。それで本人にすごく強く言ってしまったことがしくじったことになるかもしれません。うまくいった方としては、この競技をやっている家族がとても仲良くなったことでしょうか。上の2人のお兄ちゃんと紗英が仲が良く、大きくなって割とみんな普通に話をしています。特に反抗期もなかったかな？ 家族で一緒にできる何かがある、というのがいいと思います。

大森:ちなみに、紗英さん勉強の方はどうですか？

畠山:そこはあまり…。英語ですね。あとはこの競技に逃げたってところがあると思います。中学校は旭が丘中学、高校は白鵬女子で自転車競技部があったわけではないのですが、授業日数など考慮していただきました。大学は日体大に進み、紗英の入学と共に作られた自転車競技部に入りました。

大森:卒業後は社会人選手として活動されたと思いますが、今はどこの所属になるんですか。

畠山:今は所属がない形で、正直、収入もない状態です。いろいろお金がかかる競技なので本当に苦しいですね。ちなみに、賞レースに優勝した場合の優勝賞金は、日本と海外とでは違いますが、全日本選手権はシリーズ戦で3万円です。ですからこの競技だけで食べていける人は多分日本にはいないと思います。エントリー費が別途1万円かかります。この前のアジア選手権大会は賞金はなしでした。海外だと表彰台にあがれば30万円賞金が出る時もありますが、遠征費がかかっているのだから残ればいい方です。

大森:お金の話ばかりで恐縮ですが、こういったところが知りたいという方が多いんじゃないかなと思うんですよ。だって、単純に考えてオリンピックに出ている人って言ったら、当然のことながらそれなりに収入もあって、スポンサー優待を受けていて、他にもいろいろなメディアの仕事があって…と想像されるのではないのでしょうか。

畠山:過去にレッドブルと契約をしていたんですが、その時の貯金をちょっとずつ切り崩しながらやっているんだと思います。厳しいですね。遠征費もあるわけですし。

例えば海外での大会については協会からいくら補助が出ますが、スポンサーさんが全額出してくれるということはありません。紗英のマネージャーをやっている兄がスポンサーを探したりしています。

大森:なかなか厳しいですね。選手生命というものがある中で、一生スポンサー契約で食べていけるかということなかなか難しい。そんな中でも紗英さんは次のロスオリンピックに向けて活動中ということですね。実際、ロサンゼルスに向けての可能性はどんな感じでしょうか。

畠山:基本はポイントを取って上位10カ国の選手に入らなければならないのですが、強い国は3-4人でポイントを取っていくのに対して日本には強い選手が他にないかないのでポイントを取るのが大変のようです。オリンピックの前にアジア選手権というのがあって、そこで優勝すると別にポイントがもらえるので今は優勝目指して頑張っているところです。2028年のロサンゼルスオリンピックに向けて来年6月からワールドカップが始まるので、どんどん出場してポイントを取っていくという準備の年になると思います。

大森:なかなかオリンピック選手のお母様にお話を聞く機会はないかと思いますが、ご質問があればいかがでしょうか？

Q:小さい頃からすると自転車に乗り始めて、知らないうちにオリンピック選手になっていたと伺いましたが、とは言え、やっぱり日本の、アジアのトップというレベルまで行くまでの間のどこかで、何かご本人の中にやる気スイッチが入った、ここがターニングポイントだったとか、あるいはあの時挫折をしてグンと成長したというエピソードがあれば教えてください。

畠山:小さい時は割と簡単に、簡単といっていいのかわかりませんが、世界選手権でも入賞できたのですが、やはり年齢が上がってくると周りの海外の選手たちは体が急に大きくなってきてそのパワーで負けちゃうといったレースが出てきました。ずっと勝ち立ち続けていたのですが急に準決勝で落ちてしまった時があって、その時は本当にもうどん底でした。ちょうどレッドブルがスポンサーについた次の年ぐらいだったんですけど、スポンサーのプレッシャーとレースで勝てないプレッシャーがあって、それが結構きつかったように思います。

Q:素晴らしいお話ありがとうございました。お話聞いてやっぱりお母さんの負けず嫌いところが紗英ちゃんの力になっているのかなと感じました。日本全国、海外でも大会出場のために飛び回っていらしゃると文化や教育の違いに接することがあると思います。それは我々ロータリークラブが行っている国際理解・国際奉仕にもつながる部分があるんです。私は今、会員増強委員長も務めているので、この機会に畠山さん、大森君、是

非ロータリークラブへの入会を前向きに考えてみてください。これから寒川RCをもっと知っていただき、またいろいろな形でお付き合いをしていければと思っています。よろしくお願いします。

畠山紗英さんコメント

「寒川ロータリークラブの皆さま、こんにちは。プロBMXレーサーの畠山紗英です。この度はBMXレーシングについて知っていただく機会を作っていただき、ありがとうございます。私は東京オリンピック、パリオリンピックと2大会出場したのですが、そこでなかなか思うような結果を残せず、とても悔しい思いをしてきました。その悔しい思いを晴らすためにも、今は2028年のロスオリンピックに向けてトレーニングを頑張っている最中です。来年、再来年と国際大会や日本の大会に多く出場して行く予定なので、今後とも応援よろしくお願いします。」
これからは是非畠山紗英さんの応援をよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

